

## 平和台図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和4年11月4日(金)  
第一部：14時～15時  
第二部：15時15分～16時
- 2 場所 平和台図書館  
第一部：平和台図書館 3階 会議室  
第二部：平和台図書館 屋外 中庭
- 3 参加者 利用者 第一部：14名  
第二部：10名 (第一部からの継続参加9名)  
図書館 第一部：3名 (館長1名、副館長2名)  
第二部：4名 (館長1名、副館長2名、館長代理1名)
- 4 テーマ 第一部：平和台図書館の事業紹介と展望  
～理想となる地域連携・これからの図書館サービスとは～  
第二部：あなたの課題を教えてください！  
～平和台図書館に求めるサービスとは～
- 5 配付資料 (1) これからの図書館構想(令和4年11月策定予定)の概要  
(2) 練馬区教育要覧 令和4年版(2022年版)【図書館部分抜粋】  
(3) 利用者懇談会アンケート  
※会場後方での配布資料 ・へいわだいだより 令和4年9月号  
・へいわだいだより 令和4年10月号  
・平和台図書館まちあるきマップ
- 6 次第 (1) 平和台図書館長挨拶  
(2) 図書館職員紹介  
(3) 図書館事業の紹介(スライドを使用)  
(4) 懇談  
(5) 平和台図書館長挨拶

### 平和台図書館利用者懇談会 会議録

#### 1 平和台図書館長挨拶

それでは皆様、定刻となりましたので、利用者懇談会を始めさせていただきます。皆様本日はお忙しい中、お時間を頂戴しまして、ありがとうございます。これほどたくさんの方の参加者に恵まれ、大変嬉しく思っております。普段からお世話になっている方もいらっしゃるかもしれません。初めてお目にかかる方もいらっしゃると思います。今回の利用者懇談会は二部制で実施いたします。第一部では主に団体の方からご意見を頂き、第二部では主に一般個人の方か

らご意見を頂きたく存じます。よろしくお願ひいたします。

## 2 職員紹介

平和台図書館長、副館長 2 名

## 3 事業紹介等

<平和台図書館事業についてのスライドを使用した紹介>

- ・平和台図書館施設概要
- ・統計データ（コロナ影響）
- ・事業（イベント）の紹介
- ・これからの図書館構想における各「施策」に対応する形で紹介
- ・前回利用者懇談会の意見とその回答

## 4 懇談

### ■第一部■

**図書館** それでは皆様、自己紹介と団体様の抱えている課題、そして地域との連携について順番にお話してください。参加者が多いため、お一人様 3 分ほどでお話願ひします。

**利用者** 最初にお話しさせていただきます。ねりまおはなしの会で活動しております。よろしくお願ひいたします。私たちは、月に 1 回第三水曜日の午後、「素話（すばなし）」という絵本・紙芝居を使わずにおはなしをする方法で、子供たちに少しでもおはなしの楽しさを伝えられれば、との想いで活動しております。

さきほど館長の話にありましたように、『手話付きおはなし会』を年に 1 回行っております。例年冬に実施していましたが、今年は 11 月 27 日の日曜午後に予定しております。もしよろしければご参加ください。

定例行事の『ちいさなベルのおはなし会』は、以前は 2 階のおはなしコーナーで実施していましたが、密回避というコロナ対策のため、現在は 3 階の会議室で実施しています。やはり階段・エレベーターでの移動は参加のハードルが高くなるのか、一時期かなり参加者が減りましたが、その中で模索しつつも実施を継続し、今年になって固定された参加者が生まれ、嬉しく思っています。

常連参加者の好みに応じて、例えば参加したお子様が好きな亀にちなんだおはなしをするなど、工夫をしながら、参加者と良い関係を築いていっております。

今年度から図書館職員の方が選んだ季節に合った会場展示本も用意しています。

参加されたお子様もそれをとても楽しみにしているようです。

そういった中でも参加者が全体的には少ないかな、という印象がありますので、一人でも多くのお子様たちに参加していただき、おはなしをいっしょに楽しんでいただければと思っております。集客力を上げる方法というのを図書館職員の皆様と一

緒に考えていければと思っております。よろしくお願いいたします。

**利用者** 仲町五丁目町会の町会長をしています。実は今回、近くに住んでいながら初めて平和台図書館に来ました。名前は聞いていたのですが、裏道から来たもので道に迷いまして…、本当ならもっと早く着いているはずなのですが、開会の15分前に着いたという次第です。

館長より懇談会の案内を頂き、大変うれしく思っております。

私自身は本が好きで、新聞で好きな本が出るのがわかると、すぐに本屋さんに行って購入し、自分の家で読んでいます。読みながら赤鉛筆で線を引く習慣があるので…図書館を使うのは控えています。

妻も本が好きで、妻から平和台図書館の場所を聞いたのですが…、なかなか来館するのに難儀しました。

町会でも役員会が明後日の日曜日にありますので、今日の懇談会の話をしていただき、どれくらい図書館を利用しているか確認してみるつもりです。楽しみにしております。

**利用者** 平和台ブックスタートの会の副代表をやっております。平和台ブックスタートは毎月第二・第四木曜日と第三日曜日に実施しております。ブックスタートというのは、地域で子育てを応援しましょう、という趣旨で絵本の配付・よみきかせ・わらべうた・手あそびなどを行う事業です。

コロナ禍では事業が中止になったり、再開後も参加者は減ったりしましたが、最近ではコロナも落ち着いてきたので、毎回平均7組から8組の参加という状況です。

ただ平和台図書館はわかりにくい場所にあり、道に迷ってしまって遅れて参加される方もいます。案内の地図など工夫が必要だと思っております。

**利用者** 氷川台歌話会という短歌を勉強している会に所属しています。平和台図書館の会議室を利用して、月に1回午後1時から午後4時頃まで活動しています。

以前は氷川台地区区民館を利用していましたが、あそこは午後になると子供たちが多く来て、ちょっと騒がしくなってしまう。図書館だと静かな環境で活動できるのでちょうどいいのです。毎月金曜日に利用させていただきます。

コロナの時は、館長から度々会議室利用可否についての連絡をいただき、本当にご苦労様でした。

明後日、有名な歌人を講師に招いての短歌イベントを行いますよね。4年目ですか？

**図書館** 7年目です。

**利用者** そうですか。氷川台歌話会の会員もだんだんと人数が減っていき、いま7人なのです。明後日の短歌イベントに参加する方は短歌が好きな方が多いと思いますので、そういう方々に声を掛けて、なんとか活動を盛り上げていきたいと思っております。

平和台図書館はいろいろな催しが多くて、去年か一昨年か「ショパン別れの曲」の館内上映の際には参加させていただきました。昔やっていたピアノを再開したタイミングだったので、またピアノに挑戦しようかな…という気持ちが高まりました。これからも図書館運営を頑張ってください。

**利用者** 平和台体育館で館長をしております。今年の2月から平和台に異動してまいりました。正直、体育館から（平和台）駅寄りには通勤で通うのでわかるのですが、郵便局から平和台図書館側は来る機会が無く、今日初めて図書館に来させていただきました。

運動と図書館、スポーツ系と文科系で分かれてしまって、一緒にできるものがないか考えてみても、なかなか難しいかなと思いました。ただし、図書館に来る方、体育館に来る方に対し、お互いの施設を知ってもらって、お互いの行き来ではないですけど、まずは周知から始めていき、図書館に来る方も体育館に行き、体育館に来る方も図書館に行きということになれば、友好的な関係が築けると思います。私自身も子供が好きなので、紙芝居はいいな、移動紙芝居をうちの会議室でできなかな、と思いました。今後何か連携できたらいいな、と思っているのでよろしくをお願いします。

**利用者** 羽沢三丁目より参りました。図書館に来て、本を借りたり閲覧したりするのが好きですので、一般参加を申し込みました。最近氷川台歌話会のメンバーになって、短歌を作っています。そういう経緯もあり参加いたしました。今日は利用者の皆様の意見を聞きながら、図書館についての知識を深めて視野を広げたいと思いますので、よろしく願いいたします。

**利用者** 私はねりま地域文庫読書サークル連絡会に所属しています。練馬区は文庫活動がとっても盛んで、50周年記念のイベントを3年前に行いました。文庫の活動の内容は、家庭の一室で、子供たちに本を読んであげたり、一緒に遊んだりします。今は、区の施設、例えば保健所や児童館などの一室を借りるという形でも文庫を開いております。

いろいろな形がありますが、まだまだ練馬は文庫活動がとっても盛んで、多くの子供たち、赤ちゃんから小学生までを対象として幅広く活動しています。

いま小学生が学校から帰ってくる時間が遅いものですから、4年生くらいになるとなかなか来られなくなってしまうのですが、赤ちゃんから絵本に触れて育ってきている子供たちも本当にたくさんいます。

私たちは月一回世話人会を開き、子供たちにどういう風に良い本を手渡していこうか、あるいはこんな本はどうだろうかと、とにかく子供の本について勉強を重ね、図書館や学校と連携しながら、少しでも良い場を作っていきたいという気持ちで活動しています。

いらっしゃった方がいるかもしれませんが、以前生涯学習センターで大きな講演

会を行いました。その時も150～160人くらいが参加して、大阪の方から来た講師の方から子供の本の良さを教わりました。「こんな本があるよ」と次から次に本を紹介してもらい、それをいかに子供たちに手渡していくか、という内容で、大盛況でした。

なかなか今コロナで人を集めることができないものですから、文庫連絡会に入っているサークルが自主的に区の補助を頂いて講演会をしたり、子供たちを集めて事業を行ったりすることが出来なくなってしまっています。集まっては駄目、何人以上は駄目、どこどこは駄目といった制約があるものですから、ここ2年ちょっと全くできなくなってしまいました。そんな中でも、少しでも大人向けでもいいので、子供の本について勉強しましょうという気持ちでやってきました。

これからまだまだ活動は続いていくと思います。私は後から入った身で、四苦八苦しながらついていこうという状況ですが、少しでも皆様に知れて、子供たちが家庭文庫に出会った時に「こんなことがあるよ！こんなことがあるよ！」と、そこに参加できるといいなと思いつつ、なかなか進んでいかない現状ですが、皆頑張っています。

略して「文庫連」と言っています。どこかでちょっとそんなことを耳にしたら目にとめてもらえるとありがたいと思います。

**利用者** 北町地域包括支援センターで職員をしております。お世話になっております。私たちは高齢者の相談窓口となっております、こちらの平和台図書館で2か月に1回講座を開いています。そのほかに今年出張でローソンさんに図書館職員の方に来ていただいて、北町地域でも図書館さんと連携しております。

私たちが接する高齢者の方でも本が好きな方はいらっしゃるのですが、「図書館まで来られない…」という方が多くて。さきほど移動図書館の話もありましたが、だれかが一緒に行ってくれれば来られるんだけど、一人だとちょっと不安という方もけっこう多いので…本当は介護保険でできたらいいのですが、介護保険だとそこがとても難しく…、ボランティアで一緒に行ってくれる方がいたら、そういう方も、館長が言っていたような「自分で本を見て、選んで」という図書館の使い方が出来るのではないかと考えています。

あとは、目が悪くなって本を読まなくなった方もいらっしゃいますが、大活字本や対面朗読サービスを知らない方もけっこういらっしゃるのでもっとアピールしていったらいいと思います。私たちも協力できたらいいと思っています。

コロナで外出する機会が減り、転倒のリスクも高くなっていますし、認知症のリスクも高くなってしまっている状況です。そのため図書館に来るということを、高齢者が「外に出る機会」として活用していけたらいいと思います。

館内は空調も完備しているので、「夏場は涼しい、冬場は暖かい」という風な形で呼び込みをしてもいいのではないのでしょうか。

『平和台図書館まちあるきマップ』は私も自宅で子供と一緒に楽しませてもらっています。平和台図書館はイベントも多くて、楽しみにしています。もっと地域の方に知ってもらうにはどうしたらいいか、と私も思いました。私たち地域包括支援センターから発信できるものはしていきたいので、よろしく願いいたします。

**利用者** こんにちは。平和台アバンセの地域交流室に所属しています。アバンセというのは、あちら側、道路を挟んで向かい側の施設です。私も就職して10年になるのですが、最初のころは平和台駅からここ（アバンセ）にたどり着くのにはずいぶん時間がかかりました。近道をするのに横道に入ってしまうと、道がわからなくなり15分で着くところが40分くらいかかることもあります。アバンセ職員の中でもそういう職員がずいぶんいたそうです。アバンセではボランティア担当をしています。初めて参加するボランティアには、平和台駅まで迎えに行くことにしました。そうしないと2人ほどふらふらになっていらっしやったこともありましたので、それ以来迎えに行っています。

平和台図書館はすごくいっぱいイベントを行っていますよね。自宅近辺の大泉図書館と平和台図書館を両方使っていますが、こちらはとにかくイベントが充実しているなあ、と思います。私も4、5年前に古文書の講座を受けたのですが、今回の講座はアバンセのイベントと日程が重なり参加できませんでした。

今日皆様にお配りしようと思っていたパンフレットなのですが、これはアバンセの会場で行った講演会について書いた記事です。介護に関わる「人生会議」をテーマにして講演を行いました。また、先ほどコロナ禍で皆運動不足とおっしゃっていましたが、平和台一丁目町会の会長様のご協力をいただいて、アバンセでノルディック部をやっています。なにしろ室内はドーナツ状になっていて、廊下を1週回ると100m、10週回れば1kmとなります。10月にやりましたが非常に好評でした。6月にも実施しました。今度は11月27日、日曜日に実施する予定です。パンフレットをみなさんに配付したいのですが、よろしいでしょうか？

**図書館** どうぞ。こちらでお配りいたします。

**利用者** 何かお力添えできることがございましたら、お声がけいただければと思います。よろしく願いいたします。

**利用者** 初めまして。有料老人ホームを運営しております。となりの者は入社したばかりですので、私からお話しさせていただければと思います。

10月1日に谷原の交差点に老人ホームをオープンさせていただきまして、地域に開かれた施設にしていきたいと考えております。6月のボランティア講習で館長と名刺交換させて頂き、本日参加させていただきました。

いまコロナ禍により、なかなか外出が難しい状況となりまして、入居者に対して「明日を楽しみに感じる」きっかけになるような企画を実現できずにいました。施設の中の実施だけでは限界を感じており、地域の方々と一層協力して運営してま

いりたいと考えています。

平和台図書館はイベントを豊富に実施しており、短歌イベントも良いイベントと思われました。私たちも地域の方をお呼びしながら利用者に楽しんでもらえる施設、また地域の高齢者の皆様が元気になるきっかけを与えられる施設にしたいと思っています。施設の中で意見を出しながらの運営ではありますが、今回皆様の意見を聞きながら、ぜひ連携させていただければと存じます。今後ともよろしく願いいたします。

**利用者** 私は平和台一丁目町会の中の喜生会から参りました。喜生会とは何かといえば老人会です。この喜生会では40年以上つづいている会報を作っております。しかしながら老人会は超高齢化が進んで、いまや息絶え絶えの状態です。せつかく続いているのを何とかもちこたえて盛んにしていこうと思っています。コロナが落ち着いてきましたので、昔は盛んに投稿してくれていた俳句・短歌・川柳を復活させたいと声を掛けたら、けっこう集まってきました。その時の集まるためのネタとして、平和台図書館所蔵の雑誌を活用してもらいました。「初心者に見せたら面白いかな」と思い活用したら、かなり反応が良く、「こういうの読んでいるとなんか出来そうな気がするね」と盛り上がりそうな雰囲気になっています。これからも大いに利用させて頂きたいと思っている次第です。実はその他に、平和台体育館では北地区の老人会で輪投げを行いました。皆さん楽しそうに集まってきました。今まで輪投げなどは子供の遊びだと思っていましたが、実際やってみると入らないんですね。やってみるとけっこうおもしろい。昔活躍したおばあちゃんたちは5mも届かなくなってしまっているのです。新たに参加者を募ったら参加者も増え、少し若返ったかなと感じています。そんな中、今老人会と町会の境目を無くしてしまおうと考えています。このような遊びも、大人は5m離れる、子供は小学校低学年ならば2m～3mから投げるなど工夫すれば、おじいちゃん・おばあちゃんから子供まで一緒に遊べるのではないかと。遊べば楽しくなる、楽しくなれば町会にも老人会にも皆集まってくるのではないかと。その材料が図書館には詰まっているのではないかと考えています。大いに利用させていただこうと思っています。地域包括支援センターさん、アバンセさんなどは年中お世話になっていますので、これからもよろしくお願いします。

**利用者** 私は平和台一丁目町会という立場で本日出席させていただきました。実は7年前までは勤めておりました、図書館とは一切無縁な立場でした。それがちょうど3～4年前から、音楽を聴きたいなと思ってCDを借り始めたのです。それが図書館との接点です。

そうこうしているうちに、町会の回覧板で平和台図書館の企画を2度、目にしました。1回目は映画会でした。これは当日行けば観れると思って来たら、申込をしていないので駄目だ、と…。2回目は啓志線の講演会で、これは面白そうだと思い、

今度は申込をして参加しました。それが接点です。

私たち平和台一丁目町会とリンクした企画も実施していただいているようで、このようなイベントがいろいろな形で実施されていったらいいな、と思うのですが、先ほどご意見がありましたように、広報がね。

私はちょっと町会の広報しか目に止まらなかったものですから。そういう意味ではいろいろ実施していることを知らせていただけると、また出てみたいと思うようなものがあったら、ぜひ参加したいと思っております。

あともうひとつ、わかったことがあります。私、東村山の方の図書館に呼ばれて、行って話をしたことがあります。地域住民の方に話をしてください、と。それでなんだかわけがわからないまま話をしてきた経験があります。あっ、それは今回のような図書館の企画だったのだとようやく今わかりました。そのような企画は、図書館サイドでずいぶんやっておられるようで…。

やはり広報をしっかりとしてもらえると我々も参加できるのではないかと思います。よろしく願いいたします。

**利用者** 追加です。個人的に言いますと、私は図書館の本の背表紙を眺めるのが好きであります。たまには読みますけれど、眺めるというのが好きであります。ここで顔見知りの人に会うことがあまりないので、なぜ来ないのかなあとも思っています。余談でした。

**利用者** 平和台二丁目にあります平和台児童館で働いております。よろしく願いいたします。児童館は0歳赤ちゃんから18歳未満の子供たち、法律でいう児童が利用できる遊び場であります。日々、午前中は乳幼児の親御さん、午後夕方は小学生、午後7時まで開館していますので、午後5時～午後7時までは中高生がやってきて、日々思い思いに過ごしてもらっているという施設です。

体育館の館長の話もありましたが、実は図書館・体育館・児童館と3館がすごく近くにありまして、子供たちに関する事業も実施していますので、3館ラリーのような地域の子供たちのためになる事業をしていければいいのかな、と話を伺いながら考えておりました。

児童館では、以前は日々120人くらいの利用があったところ、コロナ禍のこの4年間は100人前後まで利用人数が減ってきています。特に中高生は児童館に寄るのではなく、自宅でゲームなどをして過ごすようになっていて、なかなか年齢層の高い子供たちの来館が減っているという現状です。子供たちに話を聞くと、体育館でバスケットをやったり、卓球をやったりしているようです。私から子供たちに平和台図書館の会議室開放（臨時閲覧席）を紹介することもあります。児童館だとうるさくて勉強できないので、こういった少しずつでも、「体育館行っておいで」「図書館へ行っておいで」との促しをしていけたらいいなと思っております。

ちなみに、現在児童館では職員一人ひとりが、3週間ずつおすすめの本を3月ま



で本棚に並べるという企画をやっております。私も小さい時に読んでいた児童書を読み返したりしています。本は身近なもので、子供から大人まで長く読まれているものは特に、私たちが子供の時に読んだ本をいま子供たちに読んで伝えることができる素晴らしい題材だと思いますので、ぜひ連携して事業を実施できればと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

**図書館** 皆様ありがとうございます。14名の方から貴重な意見を頂きました。図書館という場所は、広報をもっともっと強化しないといけない、また図書館で活動されている団体様の活動をもっと広く紹介していかなければならない、と思いました。図書館という場所は、今回参加してくださったねりまおはなしの会様、ねりま地域文庫読書サークル連絡会様、氷川台歌話会様など地域で活動されている方々が活動する場であるとともに、皆様の活動をご存じでない方々に向けて情報を発信する場になれるよう努めなければならぬ、と今改めて感じた次第です。

そして、初めて来館する方へのわかりやすい地図が必要であるとも強く感じました。仲町五丁目町会様などは来館するのに大変ご苦勞をおかけしたかと思いません。申し訳ございません。

前年度に行った平和台図書館PRアンケートでも、平和台図書館を「使わない」理由は、そもそも「場所を知らない」という回答が非常に多かったです。「平和台図書館はここにあります。こういった活動をしています」という広報を今後さらに強化していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

**図書館** 場所がわかりづらいというのはわかります。私も初めて来た時にずいぶん迷いました。一步近道しようと思うと、外れてどんどん遠くなるというのが平和台図書館かもしれません。

また地域包括支援センター様のお話で出た「本を読みたいのに、なかなか図書館に来られない」という方に対してですが、登録に条件はございますが、介護認定を受けた方などに対しては、外出困難障害者等図書館資料郵送サービスがございます。登録をしていただくと、お電話で本を予約し、自宅に本を郵送してもらい、返却は郵便局員が回収してくれるという内容のサービスです。詳細なサービス内容はお時間の都合で割愛いたしますが、覚えておいてもらえたら、と存じます。介護認定のほかに、内部障害など障害をお持ちの方も対象ですので、皆様よろしかったら、図書館のカウンターか電話にてお問い合わせください。

**図書館** 紹介ありがとうございます。  
それではちょうど午後3時を回ったところです。第一部利用者懇談会についてはこれにて終了させていただきます。皆様ご参加ありがとうございました。

第一部終了

## ■ 第二部 ■

＜館長による 「ねりまふるさと紙芝居『星の井』の実演＞

- 図書館** 皆様お楽しみいただけただけでしょうか。ありがとうございました。
- 登場人物の小さな主人公が成長していく姿と、日々平和台図書館を利用する子供・若者たちの姿が重なって見え、作品の雰囲気も平和台図書館にぴったりかな、という想いで、いくつかある「ねりまふるさと紙芝居」の中からこの作品を選ばせていただきました。
- 「ねりまふるさと紙芝居」は図書館2階こどもコーナー内おはなしコーナー、じゅうたんのスペースに用意してありますので、ぜひお手に取りください。
- それでは、懇談会に入りましょう。
- 図書館職員も課題としていることがございますので、まずは副館長からお話しいたしましょう。
- 図書館** 小学生のころはたくさん本を読んでいたのに、中学生・高校生になるとすっかり本に親しむ機会が減って、そんな中でも読書を続けるお子さんもいらっしゃるのですが、全体としては本当に本から離れてしまうお子さんが多くって…。何かいいアイデアがあったらと常に思っているのですが…。みなさん良いアイデアをお持ちでしたらぜひこの機会に教えてください。
- 図書館** そうですねえ。図書館にも中高生世代は来るは来るのですが…、率直な話、勉強に来ている子がとても多くて、それが読書活動に結び付いているかというところ、今お伝えしたように、疑問なところがあります…。そのあたりはどうすれば、課題解決に近づけるのでしょうか。文庫連様、いかがでしょうか。
- 利用者** 配付資料（練馬区教育要覧令和4年版【図書館部分抜粋】）の統計を見ていたら、平和台の場合、蔵書数・貸出数は多いのですが、改築の際に青少年コーナーは出来たのでしょうか？
- 図書館** はい。出来ております。
- 利用者** そこがせっかく出来ているのに、児童書は多いけど、青少年の蔵書は比較すると少ないように感じました。青少年は借りるのも、来るのも少ないのかなあと考えて、質問しようと思っていたところでした。私は文庫連絡会に入っているのですが、大泉の家庭文庫に1週間に1回手伝いに行っています。やはり小学校3年生までは何とか来るけど、4年生くらいからは文庫が開いている時間に間に合わないのです。そのためその文庫では日曜日でも貸出するようにしたのです。働いているお母さんたち、どうしても小さい子供さんたちを持っている方たちが平日には利用できないから、日曜日にお父さんと一緒に来て、ものすごい大量の本を借りていくんですよ。制限なしに貸出しているのです、多い場合20冊くらい借りていくのです。赤ちゃんから利用する子供たちが、そのまま大きくなると、やっぱ

り自然に借りていくのです。一時は離れても、また戻ってきて借りに来る。図書館で借りる人ももちろんいるのでしょうけど。やはりつながっているのです。だから中学生になってから本を読めと言っても、突然読みはしないと思います。よほど何かに興味を持てばでしょうけど、なかなかそうはいかないと思います。やはりレファレンス（読書相談）が重要なと思うんです。図書館に来た時に「どれを手にとって、どこから入っていったらいいのか」というのが、大人の私達でもなかなかわからない。大人でも同じ本を読んでしまうことはあるので。私なんかは文庫に行っているの、借りてくる本は児童書なんです。それがとってもおもしろいのですね、大人の本を読むより。それで借りてくる本はだいたいそういう本になってしまうんですけど。やはり子供たちはひとつ気に入ったものがあると、何度でも繰り返し借りていくのです。「また借りるの?」「また借りるの?」という感じで。そのところは、大人がどういう風に本を薦めていくのか…、「こういう本があるよ」というこちらからの働きかけが、すごく役立っていると文庫に行っていてよく感じています。大きくなった時にどこから手を付けていいのかわからずに、探している子たちに対し、中身を言うのではなく「こんなのあるよ」「こんなのあるよ」と大人が案内してあげると、「う～ん、どうしようかなあ」とか言いながら表紙などを見て「おもしろそうだな」と思いちょっと借りていく。すると「あれすごい面白かった。次何かある?」とつながっていくという感覚があります。図書館でいえばレファレンス（読書相談）の部分、本を薦めてあげるとか、そういうところに人がいるだけでも、ちがうのではないかと思います。

**図書館** 平和台図書館の青少年の展示コーナーは、職員がとても努力して作っていて、とても凝っているなあとも感じています。しかし、一方では展示という形だけでなく、こちらから能動的に声掛けしないかぎり、ちょっと難しい部分があるなどということは私も感じております。

**利用者** よほど読み込んでいる子であれば、たぶん自分が読みたいものがわかるので、ポンポン抜いて持っていくでしょうけど…。そうじゃなくて、「何を読もうかなあ」という子には、図書館の方がちょっと手助けをしてあげると、食いつくかもしれない。せっきやく専門の方がいるのに、なんかもったいないなあと思います。

**図書館** その話に関連するのですが、海外文学の一般向け講座で講師をお願いしている方に、青少年向けイベントにも出演してもらったことがあります。

**図書館** 今年の3月にやりました。

**図書館** コミックをテーマにして「語り合う」イベントでして、講師も参加者も同じ立場で話し合うイベントです。

**図書館** 座談会ですね。

**図書館** 「私はこの作品が好きだ！なぜなら…」という形で。集客は正直苦戦しました

が、最終的には少数ではありますが、なんとか一定の参加者を確保できました。私も参加させていただいたのですが、内容はすごく良かったです。参加人数は少ないながらも、興味のある若者たちに向けて、ちゃんと「刺さった」イベントになったと感じました。今年度も青少年が好みそうなテーマで計画しています。

**利用者** 絶対難しいものから入らない方がいい。中学生だとこの程度というのがあるでしょ。そうではなくて、一段階か二段階くらい下がったところで…。大人が絵本を読んでも面白いでしょ。

**図書館** 今、絵本はとても面白いですね。

**利用者** あれと同じで、中学生でも児童書の簡単などころから入っていくと、意外や意外、ついてきたりするのではないかなあと思ったりします。だから一気に難しいのを読みましよう、というのではなくて…。

**図書館** 基本的には「青少年コーナー」の蔵書には、あまり難しい本は入れません。難しい本は大人の棚に行ってしまう感じで…。青少年コーナーの本は決して難しいものではございません。ただし一度本から離れていってしまうと、どう選んでいいのかわからない。大人もそうですよね。お子さんはもっとそういうことがあるのかもしれない。

通常テーマ展示だけではなく、職業体験の子たちがおすすめ本のポップを書いて作った「中学生オススメ本」コーナーがございます。そういった青少年にとって身近なものを増やしていけば、もう少し読書の入口のハードルも下がるのではないかと考えています。

**利用者** 今、館長に紙芝居を読んでもらいましたけど、大人でも十分面白いですよ。

**図書館** ありがとうございます。恐縮です。

**図書館** いただいたご意見は児童・青少年の担当者と共有いたします。

**利用者** 20歳からの利用者数は戻るのでしょうか？

**図書館** 統計の裏付けなしでお話しますが、働きはじめてからしばらくは戻っていないように感じています。働いて一段落してからの図書館利用が多いと思います。お仕事で使う資料として図書館資料を利用するということがあります。

**利用者** 児童館の子供たちも、やはり中高が一番忙しい印象があって、読書の時間を削っている、またはスマホで読んでいるという子たちが多いのではないかと思います。本好きな子は、読む量が少しだけ減っているのは（児童館で子供たちを見ていて）感じているところではあります。その子たちが、高校を卒業し、大学へ行き、社会人となる。その過程で「戻ったところをつかまえる」という意識も大事なのではないかと思います。

小さいころから読んでいる子たちはすでに本に親しんでいる素地があるので、いったん離れてから戻るときに、今おっしゃられた面白いものをぱっとつかんだら、「そうだ！読書って面白いんだ」と思い出してくれるのではないかなと思います。

ます。ちょっとだけ間が空いても、その戻った時を捕まえるというのをやれたらいいな、と。中高生利用が少なくなってきたから、だめだあではなくて。絶対に「戻ってくる」タイミングはあります。私たち大人も「戻ってくる」タイミングがあったので。そういうところにフォーカスしてもいいのかな、と思いました。

**図書館** 貴重な意見ありがとうございます。その「戻ってくるところを捕まえる」の視点はありませんでした。非常にためになります。

**利用者** 先ほど（懇談会第一部で）、私は図書館の本の背表紙を見るのが好きだと言いましたけれど、中学生くらいになるとそろそろ自我に目覚めて悩み始める、ひきこもりが始まるのがそれくらいの年代なわけですよ。あの子たちはけっこう悩みを持っている。

敷居が高いというのであれば、「ここに行けば、そういう本がある」というのがわかるように、館外掲示板に青少年コーナー蔵書のタイトルを並べて掲示すればいいと思います。そうすれば「ここにはこんな本があるのか…」と思い、自分の世界に結び付くものももしかしたら見つかるかもしれない。見つければ入ってくればいい。あそこの掲示板をもう少し活用できればいいのではないかと思います。

**図書館** 館外掲示板ですね。活用アイデア、ありがとうございます。

**図書館** きっかけですね。中に入るきっかけを作るとのことですね。

**利用者** 小学生向けには「よんでみようこんなほん」というパンフレットが配布されていますが、中高校生向けの同様のパンフレットはあるのでしょうか。

**図書館** はい。ございます。「コンパス」というパンフレットを青少年コーナーで配布しております。

**利用者** それを定期的に、毎月は無理でも活用してみたいかがでしょうか。または平和台図書館独自で作るとか、「いまこれがオススメです」というチラシ1枚で紹介するのもいいですし…。そういうのがないと、本当にどれを読んでもいいのかわからないので。そういうのを作ったらいいのではないのでしょうか。

**図書館** ご意見ありがとうございます。

**利用者** 子どもが読書を親しむためには、閲覧席の利用および認識の仕方を変えたいと思います。閲覧席には、学校の勉強や受験勉強をしている方が多いようです。閲覧席の掲示には、「閲覧席は図書館の本を読むところで…」と記載がありますよね。閲覧という言葉の意味からすれば、その通りだと思うのです。徹底的に自習を禁止すればいい。そうすれば本を読むようになるし、子供の教育にとっても、決まりを守ることは大事なわけで。きっと条例で決まっていると思うのです。閲覧席は図書館の本を閲覧するところだと。教育委員会の下にあると思うので、図書館は。条例を守るのは、大人になるためにも大事で。閲覧席は書架から取った本を読むところというのを呼び掛けて、ポスターを貼ったりするか。そ

うすると子供たちも図書館に行って面白い本を読みたい、という気持ちも出てくると思うのです。

私も閲覧席に来て勉強したいなと思うことはあります。家から本を持ってきたり、短歌を作ったりすることもある。そういう時も本当に席を使っていいのかなと迷う時があります。

持込の資料での利用を控えるよう館内放送でもして呼びかけたらいいと思います。徹底した方がいい。子供の教育のためにも。

**図書館** ご意見ありがとうございます。ここで閲覧席のルールについて私から説明させていただきます。閲覧席は、図書館資料をご覧になるか、それを使って調べものをするための席でございます。しかしながら図書館資料を使わずに閲覧席を利用している中高生年代の方は確かに多く、そういう子たちに「これを使ってみては」と図書館資料を紹介（案内）することも実際あるのですが、なかなか利用にはつながりにくい、というのが現状です。

すぐに利用を中止させるような厳しい措置は行っていません。そういった子たちが、紙媒体以外も含めて、図書館の資料に触れる機会を増やしていきたいという気持ちで運営しています。ただ制限をするという姿勢ではなくて…。

「これからの図書館構想」にもありますフロアのすみ分けの話にも関連しますが、年代（年齢）によってすみ分けたらどうか、社会人専用の席をつくってはどうか、本を閲覧するためだけの席を設けてはどうか等、現在職員内部でも活発に意見を出し合っております。

また平和台図書館は今後フロアの静／動のイメージの確立を目指します。1階が動のにぎやかなイメージに対して、2階は静のイメージ。一方的に排除するのは…、という気持ちが率直なところです。読書活動につながるための施策として提案いただきましたこと、大変ありがたく、参考にさせていただきます。とても対応が難しい案件と認識しております。

**利用者** 私が図書館に感謝しているのは、ちょっとしたことでも対応が早いので感謝しています。

**図書館** ありがとうございます。（隣家に向けて）植栽が伸びた際に、剪定ばさみを持って伺って対応しております…。

**利用者** すぐにやったださるので、とっても感謝しております。

**図書館** 閲覧席についてですが、本を読みたい人が席の空きがなく座れない状況にあるときに、勉強している子が席を譲れる状況であればベストだと思います。譲り合いという気持ちも覚えるので…。ただ勉強に集中していると周りにはなかなか目がいかないというのもあります。

閲覧席を利用する中高生の中には、勉強に疲れた時に、イスに座って2階展示コーナーの本を、少し難しめの本も並んでいるのですが、実際に手に取って読んで

いる姿もたまに目にします。勉強の合間にふっと一息つく時間に図書館資料に接する機会は確実にございます。全員の方がそうだと嬉しいのですが…。閲覧席利用についての対応は職員が常に模索・協議しております。

**利用者** 左様ですか。勉強になります。ありがとうございました。

**利用者** 大変お恥ずかしいのですが、私も中学生まではたくさん本を読んでいたのですが、高校生になってからは全然読まなくなって…。それを考えた時に、大学生になってから行った企画について思い出しました。その企画は、読む本はみんなばらばらなのです。各自読みたい本を読んで、時間になったら、読んだところまでの本の感想をシェアしようという趣旨の企画です。そうすると、自分の読んだ本を人にアウトプットするので、自分の意見を整理することで、得ることが多く、伝えるからこそ考えが深まることもありました。私自身高校生の時はひとりで読むのが苦手だったので、読書から離れてしまったのです。みんなで読む機会があれば、広がるのかな、と思いました。

また学校だと勉強はできると思うのですが、社会でどういう風に生きていくのかということは悩むので…。そういうことを色々な世代の人に相談する機会があれば、私が中学生・高校生であればとてもうれしかったなと思います。

教員を目指す大学生もいるので…。学校に就職してから現実とのギャップにつらくなってしまうという友人とかもいるのですが。教育系の大学にボランティアをお願いし、中学生・高校生の相手をしてもらう環境ができれば、世代間の交流もできると思います。自然と高齢者とも交流できると思うし、小学生も来るのかな、と思いました。

自分は読書から離れてしまった身ですが、もう1回戻ってみたいなと思いました。

**図書館** ありがとうございます。ぜひ戻ってきてください！

**図書館** 皆様色々な意見ありがとうございました。私の質問にも色々答えてくださってありがとうございます。他にもご意見がある方はいらっしゃいますか？

**利用者** アバンセではボランティアの受入れをしています。よみきかせのボランティアもいます。その方といっしょに紙芝居がどんなものがあるのか、と見てみたのですが、もうちょっと種類があるといいな、と思いました。紙芝居は（アバンセ）利用者も喜ぶのですよ。20人～30人の方に紙芝居を行っています。

**図書館** 紙芝居は実は地下の倉庫にもございます。どういった紙芝居がご希望かカウンターで言っていただければ、職員がセレクトしてご用意しておくこともできます。

**利用者** そうなんですか。昔の作品、「愛染かつら」とか。

**図書館** 「愛染かつら」もございます。高齢者向けの紙芝居も出来ていて、そんなにたくさんではないけれど、ございます。

利用者 へえ、高齢者向けの紙芝居。へえ、そうなんですか。

図書館 じゅうたんのコーナーの一角にございます。

利用者 知っているストーリーの方がけっこう喜ぶのですよね。

図書館 それと講演会で聞いた話なのですが、浜松の図書館の事例で、大型絵本でおはなし会を行ったりするそうです。全く知らない作品も人気があることを聞きました。それは泥棒が出てくる本でした。

カウンターでご相談いただければ職員がセレクトしたものを見てもらい、気に入ったものを貸出させていただきます。ご相談はいつでもお待ちしております。

図書館 カウンターでのご相談は、図書館職員の資質向上にもつながります。一つひとつ質問を受け、回答することの積み重ねが職員一人ひとりの能力を上げ、結果としてより良い図書館サービスにつながると思います。よろしく願いいたします。

図書館 大型絵本も一度ご利用いただけますと幸いです。

利用者 ところで、閲覧場所として、この中庭は使えるのでしょうか？例えば藤棚をつくるとか…。読書スペースが少ないのは確かだし…。

図書館 実はそのPRも兼ねて、中庭を懇談会第二部の会場とさせていただきました。お座りになっている後方にあるベンチは新しく購入したものです。まずは屋外通路に設置し、図書館に来る人も、そうでない人も、ちょっと一休みできるスペースを作りたいなど。コロナ禍が始まってから、(屋外の)植栽に腰かけて休憩している人を多く目にします。せめてベンチを置いて、散歩のついでに、また調べものの休憩時間に外に出てリフレッシュに、とぜひ利用してもらいたいです。今後は屋外通路および中庭の活用を目指していきます。

図書館 ベンチ設置のアイデアは以前の利用者懇談会で平和台一丁目町会の方からご意見を頂いたものです。運用はこれから詰めます。夏の暑い時、高齢者の方がちょっとしたところに腰かけている状況です。夏はどこもかしこも暑くて日影が少なくて困っています。暑さをしのぐ場所を探しているところです。

利用者 確かに、もったいないスペースですね。

図書館 もちろん中庭活用についてメリット・デメリットはございます。夜若者がたむろしてしまうとか…。そこをクリアしない限り中庭は難しいのですが…、通路であればベンチは設置しやすいかと考えています。

利用者 そうですね。ゴミが散乱したりして…。

図書館 ところで、昔中庭は使ってなかったのでしょうか。

利用者 中庭自体が無かったのではないのでしょうか。

利用者 昔からありましたよ。

図書館 ただタイル敷きではなかったですね。

図書館 なるほど、整備しているのですね。



**図書館** 児童向けイベントではすでに活用しています。よみきかせを行ったりして。季節のいい時でしたらぜひ使っていこう、と。

**利用者** 平和台図書館が出来たおかげで、地域の方がどんなに恩恵を被っているか。本当に感謝しています。何にもなかったのですよね、この辺は。こういう文化施設が。区の幹部の方のご意見なのでしょうが、この場所を選定してくださったことにすごく感謝しています。

**図書館** ここの地区の方が活動されたみたいですね。

**利用者** 昔は練馬の方まで行ったんですよね。近くに図書館が無くて。練馬（図書館）が一番古かったのです。

**図書館** 平和台図書館は（練馬区で）住民が主体になって初めてできた図書館なのですよ。

**利用者** 建設懇談会ができて建った図書館ですよ、ここはね。

**図書館** ときわぎ文庫さんなどは活動されてましたね。

**利用者** 確かに練馬区というのは「西高東低」で、西の方は手厚く、東の方が（サービスが）薄いというのが…。大泉とかあっちの方になるといろんな施設がいっぱいある。こっちはあんまりなかったよね。

**図書館** 皆様、たくさんお話いただきありがとうございます。平和台図書館は、今後も皆様の活動を盛り上げていきたいと考えておりますので、これからもよろしくお願いたします。本日はご参加ありがとうございました。講演会第二部はこれで終了とさせていただきます。しばらく私はここに残りますので、何かお話し足りないことがあればどうぞお聞かせください。ご参加ありがとうございました。

第二部終了